

花きの県別生産出荷概況(8月見通し)

品目	県名	作付面積ha (前年比)	主な品種	8月出荷見込み 千本		主産地	8月のピーク		
				全出荷量	京浜地域		上	中	下
トルコギキョウ	青森県	8.55 (117%)	ボヤージュホホワイト ボヤージュピンク ピッコローサスノー ボヤージュブルー	400 (104%)	160 (114%)	つがる市 田舎館村	40	30	30
	秋田県	10 (100%)	ロジーナシリーズ ピッコローサシリーズ セレモニーシリーズ 他	475	285	かつの、秋田しんせい 秋田おばこ、おものがわ 秋田ふるさと、こまち うご	60	20	20
	山形県	30 (99%)	ボヤージュシリーズ ピッコローサシリーズ ロジーナシリーズ 他白八重、他ピンク八重、他黄八重 一重 他	1,665 (100%)	890 (147%)	JA新庄もがみ、JA山形もがみ JA新庄、JA鶴岡 JA庄内たがわ、JA庄内みどり JA山形市 他	40	30	30
	福島県	11.7 (101%)	白八重 ピンク八重 パス紫 他	610 (101%)	500 (101%)	あいづ 会津いいで 会津みどり	50	30	20
	茨城県	10 (100%)	クラリスピンク ダイヤモンドビーチ セレモニーシリーズ 他	580	470	水戸市 鉾田市 笠間市 他	45	35	20
	群馬県	7.9 (91%)	ボヤージュシリーズ セシルシリーズ ロジーナシリーズ パルカンシリーズ	219 (95%)	218 (95%)	利根沼田	35	35	30
	千葉県	5 (100%)	海ほのか ロジーナシリーズ	40 (100%)	30 (100%)	館山市 鴨川市 (南房総市、丸山、丁 会)	60	30	10
菊	秋田県	143 (100%)	精の一精 岩の白扇 精の曲 スーパーイエロー 精菱	2,500	1,100	JA秋田やまもと JA秋田みなみ JA秋田しんせい JA秋田おばこ JA秋田ふるさと	90	5	5
	群馬県	22 (100%)	スーパーイエロー、千穂 松風のみどり 奇の八海 笑王、深志の匠	650 (100%)	490 (100%)	あがつま	30	30	40
	静岡県	-	スーパー秋風 岩の白扇	2,400 (100%)	1,500 (100%)	JAとびあ浜松	50	30	20

バラ	茨城県	11 (98%)	ローテローザ、ノブレス、サムライ、ワム、アブリコット他	480	400	茨城町 笠間市 他	40	30	30
	群馬県	15.3 (90%)	アヴァランチェ、サムライ他多数品種	760 (95%)	600 (100%)	利根沼田 前橋市 甘楽豊岡 佐波伊勢崎	40	30	30
	千葉県	3.6 (100%)	サムライ、ザ・テレサ、ローテローゼ、ノブレス	75 (100%)	60 (100%)	鴨川市	35	35	30
		2.4 (84%)	—	—	—	茂原市	30	35	35
		0.8 (100%)	ローテローゼ、ロレーナ等	50 (100%)	50 (100%)	神崎町	35	35	30
	静岡県	43 (97%)	—	580 (95%)	400 (98%)	JALみず JA大井川 JA掛川市 JA遠州夢吹	30	30	40
大分県	6 (100%)	Mシリーズ Jシリーズ その他各品種	—	—	山香事業部 九重飯田 玖珠九重	—	—	ピーク	

品目	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
トルコギキョウ	消雪遅れにより4月の定植が遅れ、7月出荷分が一部8月上旬に重なる。それ以外は概ね平年並みに推移している。	現状 上旬には長野の一部、千葉、茨城と出荷のピークとなり数量は安定した出荷となった。中下旬は山形、長野主体に安定した入荷。販売面ではお盆需要はあったものの、潤沢感もあり、例年に比べ価格は予想以上に厳しい展開となった。
	各産地、品種により生育にばらつきあり。全体的には1週間くらいの遅れ。早ばつの影響で丈が短かめ。大きな山はなく、平準化した出荷となる。	見通し 今後の天候により左右されるが、長野、山形、岩手、福島主体に安定した入荷となる見込み。販売面では、上旬はお盆需要で動きが見込まれる。季節商材、夏場の花持ちが良い花材として動きは見込まれる。
	8月出し作型の生育は順調であり、品質は良好と見込まれる。病害虫の発生は少なく推移している。	FAJ 旧盆向けに潤沢な入荷が予想される。旧盆需要中心に安定相場となる見込み。 第一花き 業務・お盆中心の販売、入荷状況にもよるが概ね例年並み。 @100
	会津みどり:3月~4月定植分の出荷が7月下旬から8月中旬まで平年より少なめの出荷。八重85%、一重15% あいつ:無加温半促成栽培は、7月末までほぼ終了。7月下旬から季咲き作型の出荷となるが、高温・強日射により、紫系品種に一部日焼け症状あり。	世田谷花き 遅れていた山形産が増えるも、千葉・愛知など終了。入荷量は潤沢。 東日本板橋花き 7月中には暖地はほぼ切りあがり、高冷地中心の入荷となってくる。北海道産も出荷が増えてくる。 東京フワワーポート 入荷は多く、盆需要でバスマラの引き合いが強くなる。
	<ul style="list-style-type: none"> 品質はおおむね良好である。 産地により例年より7日程度早い。 一部の産地では、9月上旬まで継続的に出荷。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 作付面積の減少による出荷量減。 作柄は平年並。 中間地は7月中旬から出荷、高冷地は9月上旬からの出荷見込み 色はパステル系が多い。 	
<ul style="list-style-type: none"> 生育は順調で切り花品質も良好。 7月下旬を目途に出荷量が減少し、8月中旬で出荷終了予定。 		
菊	全体的に前進しており、7月下旬にはまとまった量がでそう。	現状 上旬から中旬にかけて、新盆需要に向けて各地増加となった。白菊に関しては6月中下旬より増加しており、7月に入っても数量が多めで各顧客在庫過多となり引き合いは弱めとなった。その他色菊に関しても7月盆に向け順調に増加。間際の引き合いはあったものの、総じて潤沢感があり落ち着いた引き合いとなった。中旬以降は各地入荷も落ち着き通常並となったが、下旬に向けては8月盆需要に向けた品物が増加し各地増加となった。
	<ul style="list-style-type: none"> 台風4号の被害はほとんど無し。 作柄、出荷量ともに平年並み。 	見通し 盆需要に向け各地増加していく状況。ただし天候用件の理由で産地、品種によって前進傾向となっており、8月後半より大幅に増加し、需要期にやや足りない品物や等級が出てくる見込み。販売に関しては、上中旬に引き合いが見られ、需要期後は落ち着く見通し。 大田花き 愛知、九州、東北中心。例年並の入荷が見込まれる。物日向けはやや前進傾向。 FAJ お盆・業務中心の流れ、色バランスにもよるが概ね例年並み。 @60 第一花き 盆需要のつ、上旬より入荷が多くなり減少。早盆は休むくらいに 世田谷花き 各産地前進がみ。旧盆中の欠品がなければよいが。 東日本板橋花き 愛知中心で入荷例年並み。前進開花がみられ注文対応が厳しくなる。 東京フワワーポート
	生育は需要期に向けて順調であるが、若干前進傾向となっている。本年は、主品種のスーパー秋風から白菊に1割ほど作付けが移行している。	

バラ	<ul style="list-style-type: none"> 一部の産地で降雹の被害あり、良品少ないか。 高温の影響で葉が若干しおれ、芽立ちが悪い。 	
	作柄は平年並で品質は良い。	現 状 第2週の3連休にはブライダル需要で動きが見られたものの、気温上昇にともない、引き合いは弱い。山形など高冷地中心の入荷で、西南暖地の土耕産地は徐々に夏剪定の為出荷休みとなり、減少傾向。エクアドル、ケニア産などの輸入品が出荷再開となる
	生育は順調。夏期剪定のため、出荷本数は少ない。	見通し 大きな需要は見込めず引き合いはさらに弱まる見込み。引き続き高冷地中心の入荷傾向。盆期間中は出荷休みとなる産地もある。
	生育は順調。	FAJ 暖地の出荷は更に減少。旧盆までは前月並みの相場展開。旧盆後回復する見込み。 第一花き 需要が多くない時期で、全体的に厳しい販売。 @60
	順調な出荷となる見込み。	世田谷花き 入荷量も年間の中でも一番少ない時期。単価横ばい。ボリュームのある物は引き合い強い。 東日本板橋花き 夏休みする暖地の産地は少ないと見られ、入荷量は横ばい、引き続き厳しい販売が予想される。 東京フラワーポート 産地が切り替わり入荷は落ち着く。気温上昇で上位等級出荷減。
	剪定が遅れており出荷量は昨年よりも多い状況。今後、例年通り剪定に入り出荷量は減少してくる見込み。面積減となっており、出荷量は例年を下回る見込み。	
	<ul style="list-style-type: none"> 出荷主体は九重飯田・玖珠九重が中心。 梅雨時のボト病が見られたが、加温により改善。 	